

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における諏訪小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年4月から令和7年7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一侧面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、義務教育学校前期課程第5学年、特別支援学校小学校部第5学年の原則として全児童
- ・諏訪小学校では、5年生 106名

3 調査内容

- ・児童に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
小学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、
50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

- イ 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査を実施する。

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

諏訪小	学校	児童数	106
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.67	17.91	33.12	36.22	45.40	9.48	149.93	21.32	50.62
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.06	17.68	35.20	35.46	35.62	9.69	136.56	13.39	51.32
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は長座体前屈・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げで大阪市平均を上回り、女子はシャトルラン・50m走・ソフトボール投げで大阪市平均を上回った。男女ともに主に実技系の種目を得意としている。しかしながら、上体起こしや反復横跳びの結果が男女ともにかなり低かった結果、体力合計点については、男女ともには大阪市平均を下回っている。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答においては、肯定的な回答が男子は全国・大阪市平均を下回り、女子は上回っている。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子・女子ともに、大阪市平均よりも上回っているが、総運動時間の合計も男女ともに大阪市平均を上回っているので、2極化がすすんでいる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

各学級で定期的に外遊びの時間をつくり、年間で3回体力づくりの週間をつくっている。（なわとび週間・外遊び週間・かけ足週間）児童が運動に親しむことができるよう働きかけ、児童の運動に対する意識を高めている。しかしながら、今年度は工事のため遊具が使用できないこともあります、日常的に外で遊ぶ児童が減少し、全体的な体力づくりにはまだ課題も多い。

本校は運動場が狭く、隣の左専道グラウンドで遊べるのは限られた時間のみである。また、校区内に広い公園や遊び場が少なく、児童の運動量確保は長年の課題となっている。地域のスポーツクラブの活動はさかんであり、体力合計点や総運動時間は2極化傾向にある。

今後の取り組みとして、特に女子で、児童質問紙で課題の大きい「運動やスポーツをすることは好きですか」の結果を向上させるため、体育科実技研修を充実させるなど、授業の工夫をはかっていきたい。

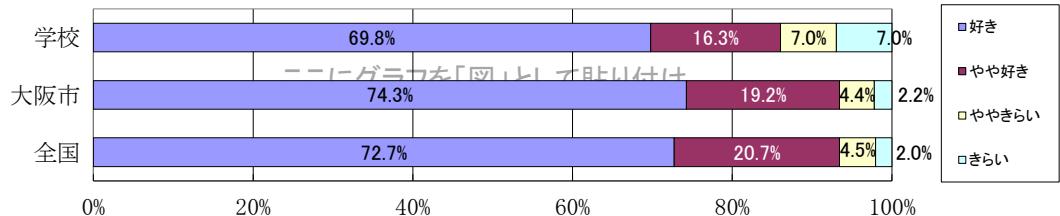
質問紙調査(男子)

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

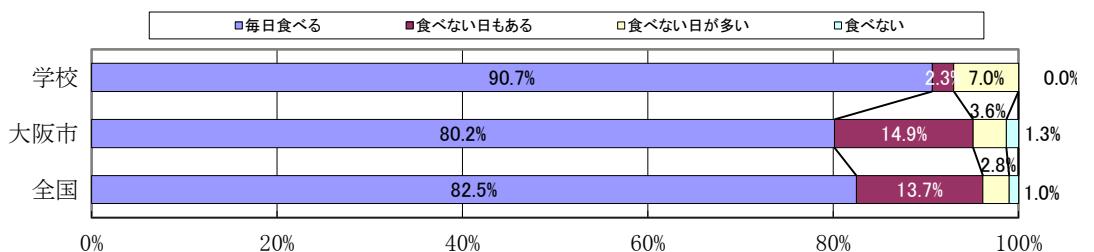
1

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



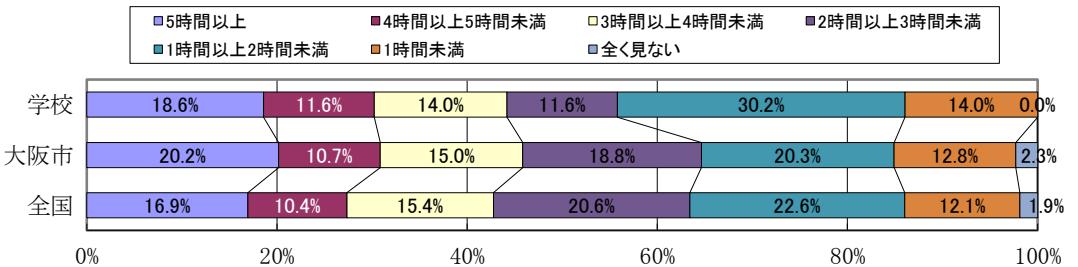
6

朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日もふくめます)



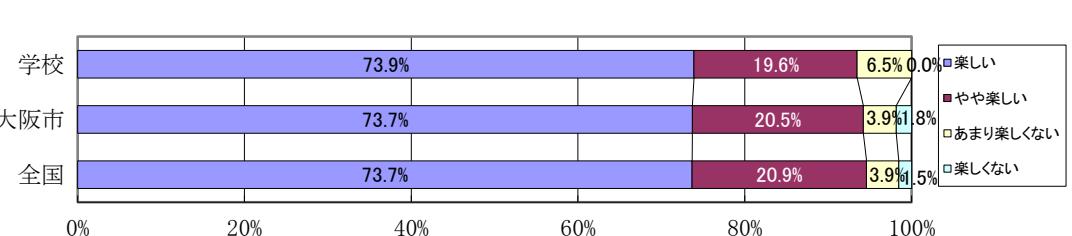
8

平日(月～金曜日)について
聞きます。学習以外で、1日に
どのくらいの時間、テレビや
DVD、ゲーム機、スマートフォン、
パソコンなどの画面を見て
いますか。



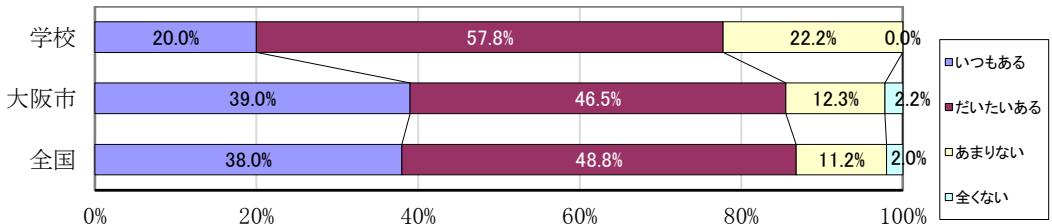
9

体育の授業は楽しいですか。



13

体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして
学習することで、「できたり、
わかったり」することがありますか。



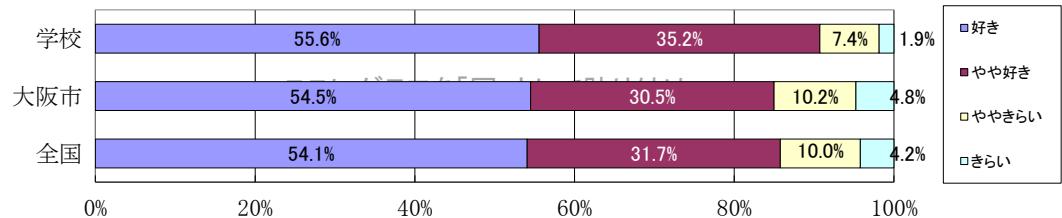
質問紙調査(女子)

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

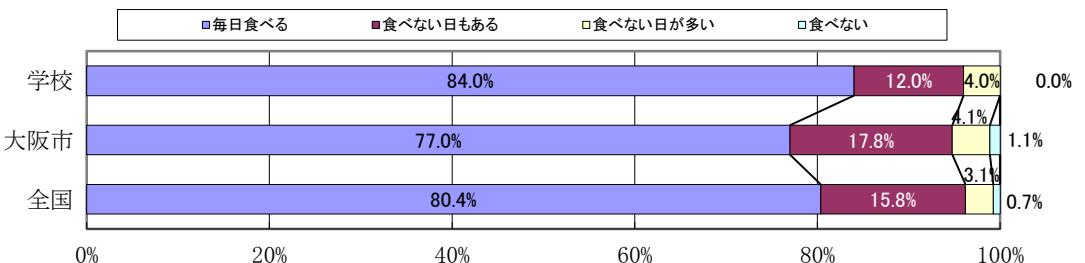
1

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



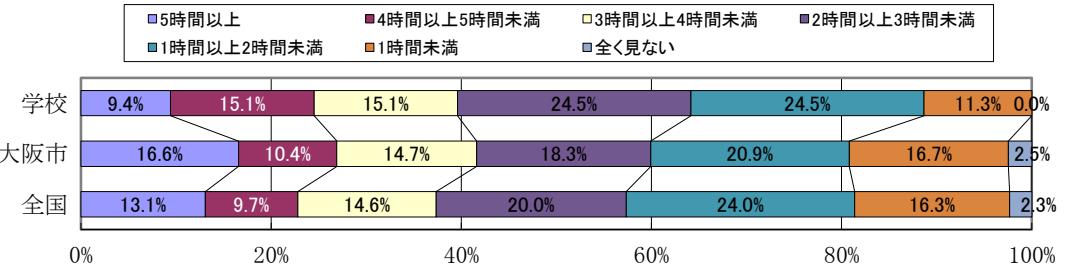
6

朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日もふくめます)



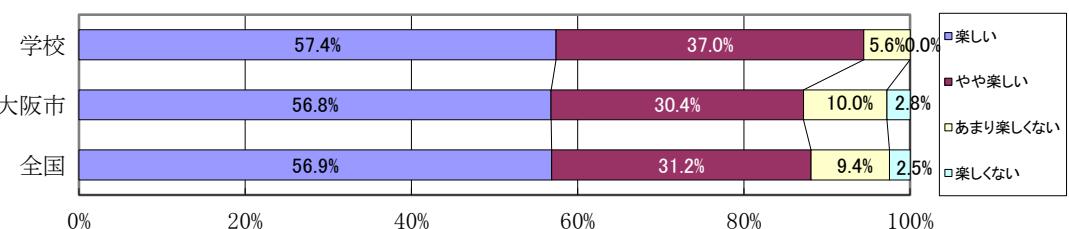
8

平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見てていますか。



9

体育の授業は楽しいですか。



13

体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

